

●「夜の生き物調べ」20日(土)の参加集約は 11 家族 25 人でした。しかし実際の来所者数は 45 家族で 65 人以上の参加となる大盛況になりました。前日の設営準備では、宿泊者のための防虫網のカヤ作りに随分と神経を使いました。一昨年には 3 歳の幼女も来られて準備していたので感謝されました。それ以後里山農園での取り組みでは防虫対策が必須設備です。しかしこれも年間 1 回の使用なので経費をあまり使えないのが実際です。可能な限り手作りで、しのいでいます。今年は理事長が自ら野菜畑に使用する網を用意して、洗濯はさみで組立てました。中心点が低くなるので、竹笹を芯柱に立てて高さを確保しました。なかなか立派な仕上がりでした。今年に来所者には、お泊り希望者はおられなかったのが少し残念でした。そして白布の配置ですが、床板の端から 50 cm の余白を残して観察布を垂らして観察しやすく改善しました。それは観察者が大勢こられると一斉にみられるようにとの配慮で大へん良かったとの感想をいただきました。

第 1 部の開始 16 時には 6 家族で、10 人でした。早速周囲を歩き回り昆虫探しに夢中、ノコギリクワガタを見つけて我が物顔でした。白土山洞穴ルートに挑戦しましたが、途中の草が大きく茂っていたので断念しました。約 2 時間、満足するほどはしゃぎ回って、18 時過ぎには夕食を食べに帰ると、昆虫が飛び出す前に帰宅されました、そしてちらちらとご参加が続き、第 2 部の開始となる 22 時には 60 人の大集団となりました。ここでもスライドを見せるとスタスタと帰宅されました。それぞれが目当ての昆虫に出逢えると、帰宅され、また捕獲が出来ないとあきらめが先に立つようでした。結局昆虫捕りに来られたようでした。生き物調べとしていましたが、ここに興味がなく 23 時には残り僅かな人数となり 23 時 30 分には全員が帰宅されました。主催者として、自然のゆたかさや厳しさを実感していただきたかったのですが、それを学んでいただく間もなく、私たちの狙いを伝えることが出来ませんでした。次年度には呼びかけ案内チラシの内容説明の改善を図らなければと気づきました。いずれにしても人が押し寄せてこられ、観察布の前は移動ができにくい時がありました。皆さんは、大規模な施設に驚いておられました。感想では、大満足です、来年も実行いただきたいとの声が多くありました。

これだけの人々が真っ暗の中集中された出来事に対して、各所で不備が発生していたと思われます。トイレ場所の明示や照明設備とか、道路入り口の明示など、真剣な検討が必要と思います。20 時 30 分の白布に集まった生物は 7400 匹でした。大型なものは ゲンゴロウ ミヤマカミキリ カナブンで期待していたクワガタやカブトムシ、セミは確認できませんでした。

●第 5 回目の「親子で遊ぼう学ぼう魚とり」は 21 日(日)申し込み者数 66 人を受け付けて開催しました。数日前までは曇りが続き日照時間が少なく野菜の成長に大きな影響がでて値上がりになっています。昨年の異常高温とは打って変わった天気、戸惑っていました。台風 5 号の北上と梅雨前線の関連で強い雨が降り続き、木津川の水位がかなり上がりました。何とか水位が下がるであろうと期待していましたが、思うようにはなりません。河川レンジャー間でこの様子だと魚とりは危険と判断して、中止の可能性が高いと考え、座学と中聖牛の見学と説明の準備を進めておりました。期待をされて集まってくれる皆さんには、実態を伝えて、受付で魚とりは出来ないとのプログラムを配布しているとき、現地視察準備係から、実施の方向の連絡が届き、急遽計画を大転換して、実行となりました。増水で本流が岸に迫っているため砂洲頭と砂洲尻の流れの緩いワンドに限定して安全を確保しました。いずれも聖牛の影響で生まれた溜まりが効果を発揮したのです。それぞれこの日のスタッフを引き受けていただいた皆様の注意力に期待したものでした。かなり蒸し暑

さがあり、ご苦労様でした。中にはスッポンの卵を発見されていました。これは初めての出来事でした。

●23日、国土交通省近畿整備局局長から里山の会が河川愛護等功労者として表彰されました。授賞式には理事長の深田様が出席いただきました。これまで長年の植物調査や河川ゴミの除去、様々なイベントの実施に会員諸氏の積み重ねた実績が高く評価されたものと思われまます。これを機にさらに尽力を重ね、表彰に恥じない活動を発展させなければならないと、決意を新たにしています。

●京の七夕への笹竹提供を23日15時に京都市内の御園橋商店街に届けました。深田さんと太田さんが持参していただきました。受け取っていただいた事務員さんはこんな立派な竹笹を届けていただいてと大変感謝しておられました。梅雨がいよいよ開けようかというこの時期、竹藪はものすごい湿度でした。汗が乾きません。頑張っていました。八幡市から一本道で鴨川に出逢うところまで行くことになります。3日連続の取組みご苦労様でした。

●次回の第6回の親子で遊ぼう学ぼう魚とりは28日の日曜日に宇治市地域のみなさんを迎える開催となります。現在の総参加申し込み人数は69人+アルファで70人は軽く突破すると予想しています。梅雨明け直後なので、熱中症予防が大切な準備となります。参加される皆さんは十分な睡眠をとっていただき、水分の補給をお忘れなく帽子は確実にご準備ください。これまでご協力いただきました皆様も、時間がございましたら、スタッフとしてお力をお貸しください。期待しています。主催者としてはミストやテントなどが準備物に加わってきます。22日の取組みでは幼児をブルーシートに寝かせ帽子をかぶせておかれた状態もありました。熱中症に注意しましょう、例年だと暑さにも体が慣れているのですが、梅雨明け後の取組みなので気を付けましょう。

●今年の土用の丑の日は7月22日とこのことをこの日を過ぎると雑草の多くは、秋の実りの準備がはじまり、成長から成熟へと徐々に切り替えがすすみます。クズなどは柔らかさから硬く強く変身が進みます。変化前の刈取りだと比較的軽い作業で実行できます。木津川の希少種の植生維持管理作業は、太陽が昇り始めると暑さも更に厳しくなりますので、早朝の時間帯で行います。昨年は有田様と津川さまが主力となって作業を行っていただきました。ご両人とも今年のご都合が悪く作業の進捗に、少し心配の面があります。会員各位のご協力をお願いいたします。予定では午前6時から午前9時30分までぐらいを予定しています。刈り取りますと一週間後には枯れて軽くなるので、引き続いて収集作業に入ります。連続ですので皆様のご協力をお願いします。



夜の生き物調べに参加された皆さん